

# 感染症情報 7月1日～7日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①手足口病	1,860例	(堺市 160例)
②感染性胃腸炎	777例	(堺市 43例)
③溶連菌感染症	595例	(堺市 73例)
④ヘルパンギーナ	280例	(堺市 18例)
⑤RSウイルス感染症	143例	(堺市 9例)

府下305医療機関(堺市29)から

**インフルエンザ 128例(堺市 18例)**

報告数による順位。前週比1.8%減の3,957件であった。手足口病が府下で6%増、堺市で前週148例→今回160例であった。大阪府の定点あたりは8.95→9.44、堺市で7.79→8.42であった。大阪府では全ブロックで警報レベル開始基準値5を超えた。感染性胃腸炎が府下で前週比10%減、堺市で前週70例→今回43例。溶連菌感染症が府下で14%減、堺市で前週93例→今回73例。ヘルパンギーナが府下で1例減、堺市で23例→18例であった。RSウイルス感染症が府下で9%増、堺市で前週15例→今回9例であった。

基幹定点だけが報告するが、マイコプラズマ肺炎が9週連続で10例を超えている。大阪府22→40例、堺市8→14例であった。

インフルエンザが府下で前週66例→今回128例で前週比94%増であった。堺市で前週9例→今回18例であった。

府下305医療機関(堺市29)から

**新型コロナウイルス感染症 1,951例(堺市 263例)**  
**大阪府定点 6.40 堺市定点 9.07**

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
82	110	106	316	181	163	196	239	173	191	194	1951

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回1,320例→今回1,951例で48%増、定点あたり4.33→6.40。堺市で前週178例→今回263例も48%増、定点あたり6.14→9.07となり、大阪府のブロック別で2週続けてワーストであった。

麻疹や風疹の報告なし。